

歌麿・英泉・北斎 - 礪川浮世絵美術館名品展

前期:2015年10月2日(金)~25日(日) 後期:2015年 10月30日(金)~11月23日(月)

(10月5、13、19、26~29日、11月2、9、16日は休館致します。)

※展示期間:前期:10/2~10/25 後期:10/30~11/23

※期間中、展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

絵師名	作品名	年代	前期	後期
喜多川歌麿	松葉屋内 八重菊 かつらき	寛政7年(1795)頃		
溪斎英泉	美艶仙女香 はつ雪や	文政6年(1823)		
溪斎英泉	岡本屋内 長太夫	天保(1830-44)頃		
葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	文政12年(1829)頃		
葛飾北斎	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし	天保4年(1833)頃		
葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦(校合摺)	天保3年(1832)頃		
葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	天保3年(1832)頃		
歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	安政4年(1857)9月		
歌川国芳	百人一首之内 大江千里	天保(1830-44)後期		
菱川師宣	上野花見の躰 姫君観桜の宴	延宝8年(1680)頃		
古山師重	座敷の遊興	元禄(1688-1704)頃		
奥村政信	きおひさくら 宇治の橋姫 渡辺のつな	宝永-享保(1704-36)頃		
近藤清春	歌比丘尼	享保(1716-36)後期		
奥村政信	風雅火鉢無間鐘 浮絵根元	元文(1736-40)末頃		
石川豊信	尾上菊五郎の雲の絶間姫	宝暦元年(1751)		
鈴木春信	丑の時参り	明和2年(1765)		
柳々居辰斎	[雷紋飾粋洋風風景画] 東橋	文化(1804-18)後期		
歌川国丸	化粧をおとす美人	文政9年(1826)		
歌川広重	東都名所 真崎暮春之景	天保2年(1831)頃		
歌川広重	近江八景之内 比良暮雪	天保5年(1834)頃		
歌川広重	東都名所 日本橋之白雨	天保3年(1832)頃		
二代歌川広重	近江八景 石山秋月	安政6年(1859)		
歌川国芳	応龍	天保(1830-44)中期		
二代歌川豊国	当世六玉川 萩の玉川	天保6年(1835)		
細木年一	諸工職業競 錦絵製造工程図	明治13年(1879)		
鳥居清倍	きれうり	正徳元-2年(1711-12)頃		
勝川春章	二世沢村宗十郎と三世大谷広次	明和5年(1768)頃		
勝川春章	東扇 文読む三世瀬川菊之丞	安永6年(1777)頃		
勝川春好	中村仲蔵の関守関兵衛実八大伴の黒主	天明4年(1784)		
勝川春潮	二世市川門之助 五世市川団十郎 三世瀬川菊之丞 三世坂田半五郎	天明6年(1786)か		
鳥居清長	四世松本幸四郎の吾妻の与四郎 松本米三郎の禿たより 中村仲蔵の難波の次郎作	天明8年(1788)		
歌川国政	二世坂東三津五郎の蓑屋次郎作	寛政8年(1796)		
歌川豊国	三世坂東彦三郎の菅丞相	寛政8年(1796)		
歌川豊国	瀬川路考 葛の葉ひめ	享和2年(1802)		
喜多川歌麿	歌選恋之部 あらはるゝ恋	寛政5-6年(1793-94)頃		
喜多川歌麿	高島おひさ	寛政5年(1793)頃		
喜多川歌麿	向島の花見	寛政2年(1790)頃		
窪俊満	六玉川 野田の玉川	寛政元年(1789)頃		

鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 角玉屋小紫	寛政7-8年(1795-96)頃
菊川英山	帯を結ぶ遊女	文化(1804-18)頃
菊川英山	当世美人揃 ほんをとりのけしき	文化10年(1813)頃
溪斎英泉	新吉原初仁和嘉 初音の旅続狂言 黒木売 やな とりさし よね	文政(1818-30)前期
溪斎英泉	浮世風俗美女競 酒韻美如蘭 茶神清如竹	文政7年(1824)頃
溪斎英泉	四季の内春 花見帰り隅田の渡し	文政9年(1826)頃
鳥居清長	雛形若菜の初模様 あふきや内たき川 おなみ めなみ	天明3年(1783)頃
勝川春潮	青楼三式部 和泉式部 越前屋 唐土	寛政4-5年(1792-93)頃
喜多川式麿	今容女歌仙 三拾六番続 松葉楼代々竹	文化10年(1813)頃
歌川国貞	北国五色墨 吉原芸者	文化12年(1815)頃
歌川国貞	今様三十二相 気がせき相	安政6年(1859)
葛飾北斎	新版浮絵金龍山二王門之図	天明(1781-89)後期
葛飾北斎	江戸八景 金龍山の晴嵐	文化(1804-18)初年頃
葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 四段目	文化3年(1806)
葛飾北斎	馬盡 馬除	文政5年(1822)
昇亭北寿	東都金龍山浅草寺之図	文化(1804-18)後期
歌川豊春	浮絵 紅毛フランスカノ伽藍之図	安永(1772-80)後期
歌川国直	娼家全図 新版	文化(1804-18)後期
歌川広重	東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪	天保5年(1834)頃
歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 花和尚魯知深	文政10年(1827)頃
歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書 黄腰壁	弘化4年(1847)頃
月岡芳年	頼光四天王大江山鬼神退治之図	元治元年(1864)
楊洲周延	徳川時代貴婦人之図 投扇興	明治31年(1898)
落合芳幾	俳優写真鏡 仁木弾正 尾上菊五郎	明治3年(1870)
菱川師宣	『美人絵づくし』	天和3年(1683)
喜多川歌麿	『絵本笑上戸』	享和3年(1803)頃
溪斎英泉	『夢多満佳話』	文政6年(1823)
溪斎英泉	『艶本婦孃の雪』(上巻序図)	文政7年(1827)頃
歌川国貞	『艶紫娯拾余帖』	天保6年(1835)
北尾重政	双六に梅 椿	文化5年(1808)
歌川豊広	三十一年統慈悲成吉例朝比奈	文政11年(1828)
歌川広重	慈悲成吉例之朝比奈	天保12年(1841)
溪斎英泉	四睡 虎意匠帯の花魁	天保元年(1830)
溪斎英泉	北条時政	文政(1818-30)前期
溪斎英泉	今様美人拾二景 しんきそう	文政5年(1822)頃
溪斎英泉	煙管入と簪	文政(1818-30)前期
磯田湖龍斎	色道取組十二番 廓の遊宴	安永5年(1776)頃
鳥居清長	四季八景 晩冬暮雪	安永(1772-81)後期
歌川国貞	星の霜当世風俗 黒木戸の前で棲を取る芸者	文政2年(1819)
歌川国安	通俗水滸伝豪傑百八人之老入 扇屋内花その	文政11-12年(1828-29)
歌川芳虎	高須遊君地獄太夫染衣 五代目坂東彦三郎薪水	慶応元年(1865)
歌川豊国	新吉原桜之景色 五枚つゞき	文化8-9年(1811-12)
喜多川歌麿	名取酒六家選 若那屋内白露 木綿屋乃男山	寛政6年(1794)頃
溪斎英泉	浮世風俗美女競 万点水螢秋草中	文政7年(1824)頃
溪斎英泉	尾張屋内 長登	天保(1830-44)頃

葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	文政12年(1829)頃
葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	文政12年(1829)頃
葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州 三嶋越	天保2年(1831)頃
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 三拾貳 洗馬	天保8-10年(1837-39)頃
歌川国芳	東都名所 大森	天保2年(1831)頃
菱川師宣	[格狭間粹] 戯れへのいざない	延宝6年(1678)頃
菱川師宣	よしはらの鉢 揚屋の座敷	延宝(1673-81)末頃
奥村政信	市の谷かっせん	正徳-享保(1711-36)
鳥居清信	市川助十郎と桜山四郎三郎	宝永6年(1709)
西村重長	立って文を読む遊女	享保(1716-36)末頃
田中益信	牛若丸と浄瑠璃姫	延享(1744-48)頃
石川豊信	七福神見立宝船	宝暦(1751-64)後期
鳥居清広	ほてい市右衛門 二世大谷広治	宝暦6年(1756)
鈴木春信	座敷八景 とけひの晩鏡	明和3年(1766)頃
柳々居辰斎	[蘭字袴洋風風景画] 隅田川	文化(1804-18)後期
溪斎英泉	浮世風俗美女競 看花復飲酒酔臥落花茵	文政7年(1824)頃
溪斎英泉	日光山名所之内 裏見ヶ滝 三滝之其一景	弘化元-3年(1844-46)
歌川広重	近江八景之内 堅田落雁	天保6年(1835)頃
歌川広重	近江八景之内 唐崎夜雨	天保6年(1835)頃
二代歌川広重	諸国名所百景 阿波鳴門真景	安政6年(1859)
二代歌川豊国	東都名所 両国 中村芝翫	天保2年(1831)
豊原国周	日本橋美人の夕景	文久3年(1863)
二代鳥居清信	新田四天王 二世市川海老蔵の四役	寛延3年(1750)
一筆斎文調	二世市川雷蔵の若侍	明和7年(1770)頃
勝川春章	九世市村羽左衛門の菅丞相	明和5年(1768)
勝川春章	中村仲蔵の平時忠と五世市川團十郎の三浦荒次郎	天明6年(1786)
勝川春英	三世大谷鬼次の朝比奈	寛政5年(1793)
鳥居清長	三世瀬川菊之丞の月小夜 二世市川門之助の五郎時宗	天明2年(1782)
東洲斎写楽	二世坂東三津五郎の石井源蔵	寛政6年(1794)
勝川春英	市川鯉蔵の頭巾姿の山賤	寛政7年(1795)
歌川豊国	役者舞台之姿絵 やまと屋	寛政6年(1794)
喜多川歌麿	六玉川 丁子屋内 雛鶴 つるじ つるの	寛政5年(1793)
喜多川歌麿	当時三美人 富本豊ひな 難波屋きた 高しまひさ	寛政5年(1793)頃
喜多川歌麿	名婦詠歌 花鳥風月 風 清少納言	享和(1801-04)頃
鳥文斎栄之	中洲の扇屋仮宅	天明8年(1796)
鳥高斎栄昌	丁字屋 雛鶴 折菊 美佐山	寛政7-8年(1795-96)頃
菊川英山	風流美人合 あふきやの華扇	文化9年(1812)頃
溪斎英泉	今様美人拾二景 うわきそう	文政5年(1822)頃
溪斎英泉	浮世風俗美女競 幻真臨鏡現 生滅帯花知	文政7年(1824)頃
溪斎英泉	美艶仙女香 すゝみかな	文政6年(1823)
溪斎英泉	御利生結ぶの縁日 日本橋西川岸 地藏尊	文政6年(1823)頃
溪斎英泉	東都呉服屋三幅対 ほていや	文政4年(1818)
鈴木春信	若公卿と小上臈	明和6年(1769)頃
鳥居清長	風俗東之錦 娘と侍女を連れた武家妻女の外出	天明3年(1783)頃
鳥居清長	あふぎや内 にほてる なみぢ あふみ	天明5年(1785)頃

歌川豊国	美図の祝ひ 戌 三すじの糸まき	文化8年(1811)
歌川国貞	当世三十式相 世事がよさ相	安政5年(1822)頃
葛飾北斎	風流東都八景 浅草の晴嵐	文化(1804-18)初年頃
葛飾北斎	王子	享和(1801-04)
葛飾北斎	紫陽花に燕	天保2年(1831)頃
葛飾北斎	柳島妙見 影向の松	文化11年(1814)
昇亭北寿	江之嶋 七里ヶ浜	文化(1804-18)後期
歌川豊春	新板浮絵忠臣蔵夜打之図	安永(1772-80)末頃
歌川広重	東海道五拾三次之内 庄野 白雨	天保6年(1835)頃
歌川国芳	本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬村大學礼儀	天保2年(1831)頃
歌川国芳	大願成就有ヶ瀧編 布引の瀧	弘化2年(1845)頃
歌川国芳	人をばかにした人だ	弘化4年(1847)頃
歌川芳艶	両賊深山妖術競之図 賊首袴垂保輔 市原野鬼童丸	万延元年(1850)
豊原国周	廊紋日勇俄	万延元年(1860)
歌川芳虎	呉服屋清七 五代目尾上菊五郎 俳名 梅幸	明治2年(1869)
月岡芳年	くら美らき	明治24年(1891)
菱川師宣	『美人絵づくし』	天和3年(1683)
勝川春章	『会本色好乃人式』	天明5年(1785)
喜多川歌麿	『絵本笑上戸』	享和3年(1803)頃
溪斎英泉	『夢多満佳話』	文政6年(1823)
溪斎英泉	『艶本婦嬢の雪』(上巻序図)	文政7年(1827)頃
歌川国貞	『艶紫娯拾余帖』	天保6年(1835)
窪俊満	群蝶画譜	文化(1804-17)頃
歌川豊広	慈悲成吉例朝比奈	文政期(1818-29)
蹄斎北馬	王朝人と秋草の咲く川	文化(1804-17)頃
溪斎英泉	風流花合 文売	文化9年(1812)頃
溪斎英泉	青簾	文政(1818-30)前期
北尾重政	三味線を持つ芸者と稽古本を見る芸者	安永5年(1776)頃
鳥居清長	風流三つの駒 馬貝	天明(1781-89)中期頃
歌川豊国	相老色万歳	天明8(1788)頃
歌川国貞	北国五色墨 内証の女房	文化12年(1815)頃
豊原国周	文治四年撰州大物浦難風の図	万延元年(1860)
楊洲周延	東風俗年中行事 十二月	明治23年(1890)